講義名	日本語Ｃ（書く）【留学生科目】				
科目区分	留学生科目				
担当教員	野村　由香里				
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 ４時限	授業形態			
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース／2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース／2019年度 人間社会学部 人間健康学科／ 2019年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース／2019年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース／2019年度 人間社会学部 観光学科／				
履修開始年次	２年生	単位数	2	備考	

主題と概要

大学ではレポートの作成、また、卒業論文の執筆が必須である。そこで、この授業では論述文の書き方を基礎から学習する。具体的には、話し言葉と書き言葉の違い、論述文に合う文体、文章の要約、また、文章全体の構成、参考文献の書き方等、順を追って学習していく。

到達目標

留学生が大学でレポートや論文を書く際に必要な基礎知識を身に付ける。

提出課題

授業中に指示

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

授業中に個別に指示

評価の基準

授業中の課題点（70%）期末課題（30%）

履修にあたっての注意・助言他

1．出欠確認は毎回点呼を行う
2．５回以上欠席した場合は期末試験を受けることができない
3．授業が始まって１５分以内の入室は遅刻とみなし、遅刻３回で１回の欠席となる
4．１５分以上の遅刻は欠席とみなす（授業は受けてもよい）
5．授業時には辞書を携帯すること

教科書

．使用しない．

プリント資料及び参考文献

『小論文への12のステップ』友松悦子著　スリーエーネットワーク　2008　ISBN978－4－88319－488－9　C0081
『大学で学ぶための日本語ライティング』佐々木瑞枝他著　The Japan times 2006 ISBN4－7890－1221－2
『留学生のための論理的な文章の書き方』二通信子著　スリーエーネットワーク　2008　ISBN978－4－88319－257－1　C0081

授業計画

1. 授業内容や評価などの説明／表記の仕方1
2. 表記の仕方2
3. 文体
4. 話し言葉と書き言葉
5. 小論文によく使われる表現
6. 段落
7. 要約文を書く1
8. 要約文を書く2
9. 中間期理解度試験の実施及びその解説
10. 意見文を書く1
11. 意見文を書く2
12. 事実を示す方法
13. 引用の表現
14. 小論文のはじめとおわり／参考文献の書き方
15. 総括

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○	ア：PBL（課題解決型学習）
	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート
	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション
	カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

1．授業前には、その日に習う事柄に一通り目を通し、分からない言葉があれば調べておく
2．授業後には、その日に学習したことを、もう一度復習しておく
3．日頃から日本語の書き言葉に慣れるために、いろいろな文章に目をとおしておく
以上、１時間程度。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考